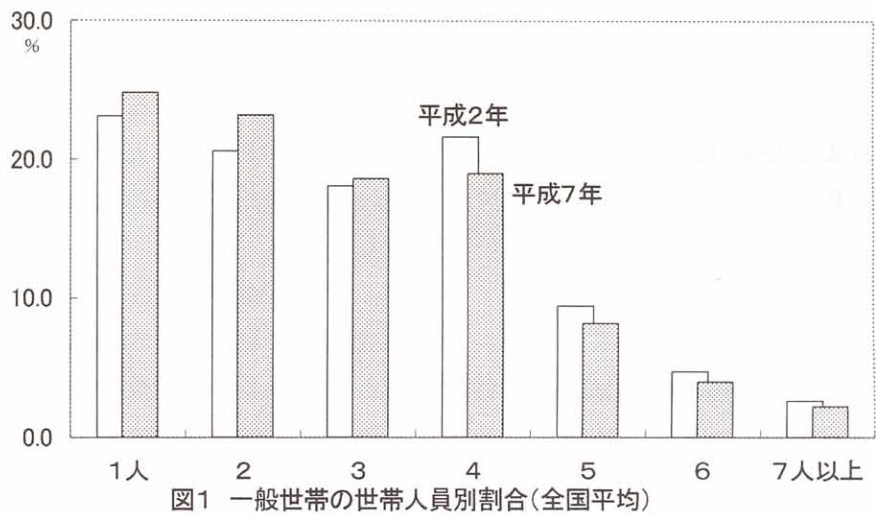


第1章 研究の目的と方法

1. 1 研究の目的

これまで、公営住宅は夫婦と子供から成る4人程度の家族をモデルにして計画されてきた。この姿勢は1950年代から今日に至るまで変わっていないように見える。確かに、公営住宅が供給され始めた1950年代当時、夫婦と子供2人の4人家族が都市部における住宅需要層の典型であったのは間違いないであろう。しかし、今日ではどうであろうか。

平成7年の国勢調査によると一般世帯当たり人員は2.84人となり、昭和50年以降の推移をみると一貫して減少している。世帯人員別に世帯数の増減をみると、3人以下の各世帯では世帯数が増加しているのに対し、4人以上の各世帯では減少している。特に4人世帯の減少率が高い(図1)。



家族類型はどうであろうか。昭和50年以降について一般世帯の家族類型別割合の推移をみると、単独世帯の割合が拡大傾向にあり、逆に核家族世帯の割合は縮小傾向にある。核家族世帯のうち、「夫婦と子供から成る世帯」の割合は縮小傾向にあり、「夫婦のみの世帯」と「片親と子供から成る世帯」の割合は拡大傾向にある(図2)。これは公営住宅居住層のモデルとされてきた夫婦

と子供から成る 4 人程度の世帯が減少し続けていることを示している。

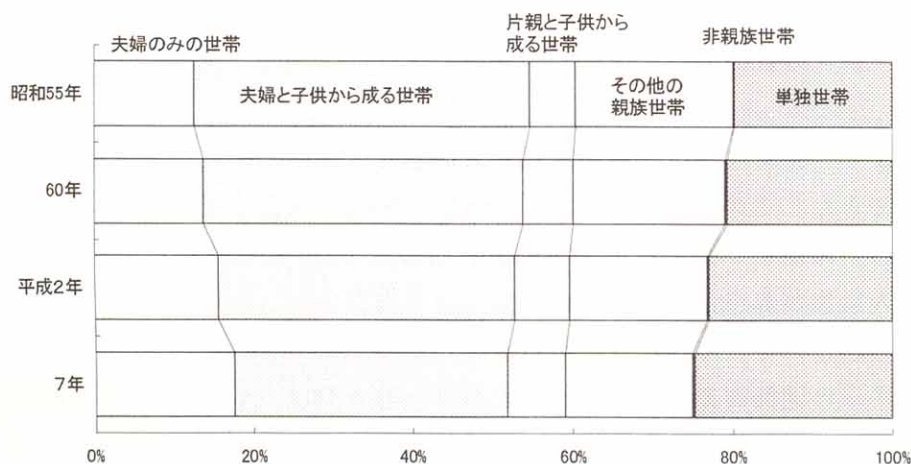


図2 一般世帯の家族類型別割合の推移

また、たとえ、夫婦と子供から成る家族であったとしても、単身赴任や女性の社会進出などにより、そこでは多様な住まい方が展開されている。要するに今、家族のあり方が大きく変わってきており、公営住宅の平面型を考える上で想定される標準的、典型的家族像がみえにくくなってきている。

これまで公営住宅をはじめとする公共住宅を供給する際、夫婦と子供2人の4人家族をモデルにして計画されてきたが、最近の一人世帯の増加はこのような考え方を見直す必要に迫られているといえる。

一方、オランダでは最近、ホームレスが増加しており、その要因のひとつとして一人世帯の増加が指摘されている。一人世帯の多くは、離婚や独身者の増加によるもので、失業や病気に直面すると生活基盤が崩れやすい。しかも、助けてくれる家族もいないため、ホームレスになるケースが少なくないという。オランダでは60年ごろには全世帯の一割前後だった一人世帯の割合が60年代から急増し、95年には31.4%に達している。日本でも、国勢調査の結果を1980年までさかのぼってみると、着実に一人世帯が増加している。1995年には一般世帯のうち、一人世帯が24.8%に達している。また、旧厚生省が行った世帯数の将来推計によると、今後、一人世帯は増加し続け、2020年には1453万世帯になり、世帯全体の3割に達するとしている。逆に80年代までは一般世帯の4割以上を占めて圧倒的に多かった「夫婦と子供から成る世帯」は減少し続け、2013年には一人世帯が「夫婦と子供から成る世帯」の数を上回るとし

このように一人世帯の増加は公営住宅居住層のみならず、全般的な傾向となっている。特に一人世帯のような特定の家族類型の増加は地域の社会構成に偏りが生じ、その結果、コミュニティの自律性の低下や相互扶助等の地域福祉機能の低下などをまねくといわれている。したがって、こうした一人世帯の増加に対応した住宅計画および住宅供給のあり方について検討する必要がある。また、近年供給されている公営住宅の床面積は拡大傾向にあるが、コストをはじめとする様々な制限のある公営住宅を効率よく供給するためには、住戸の規模や平面型を見直す必要がある。

以上の点から、本研究は一人世帯の増加に対応する公営住宅の計画と供給システムについて具体的に検討するための基礎的研究を行うものである。

なお、本研究は以下の基本的な考えに基づいた新しい公共住宅のあり方について具体的な提案をすることを最終目的としている。

- ・多様な家族類型に対応できる。
- ・異なるライフサイクルに対応できる。
- ・実現性が高い。

1. 2 研究の方法

九州北部の人口7万人程度のある市の公営住宅居住者を対象に以下の手順で調査、分析を行った。

①公営住宅の全世帯 1463 戸について世帯人員別、家族類型別、年齢区分別の世帯数を住民票から集計する。

②公営住宅団地の中で居住者の属性が全体の平均と比べてあまり偏りがいない200戸前後の団地を選定し、入居時の家族構成、家族人数、世帯主の年齢・性別、入居年次を調べる。なお、調査は入居届け出台帳を閲覧した。

③対象とする公営住宅団地の全居住者について、入居時から現在までの家族構成の変化をみる。

④一人世帯化した居住者はどのような特徴があるのか、また、どのような経過で一人世帯になるのかについて、居住年数、家族類型、家族人数、世帯主の年齢などの視点から世帯人員が二人以上の世帯と比較検討する。

⑤一人世帯化のパターンを抽出し、今後の居住者の変化、動向を予測する。